

平成 11 年 2 月 10 日

**加藤豊島区長**

**アメリカ合衆国の未臨界核実験に対し**

**クリントン大統領 へ嚴重抗議**

10日（水）加藤一敏豊島区長は、昨日9日に、アメリカ合衆国がネバダ州の地下核実験場で6回目の未臨界核実験を実施したと発表したことに對し、クリントン大統領に抗議文を送付した。

決議文は、別紙のとおり。

問合わせ先 総務課長

1999年 2月10日

アメリカ合衆国大統領

ウィリアム・J・クリントン 閣下

貴国は9日、ネバダ州の核実験場で6回目の未臨界核実験を実施したことを明らかにいたしました。

この行為は、核実験を全面的に禁止する包括的核実験禁止条約（CTBT）の精神に真っ向から反するものであり、核兵器廃絶に向けた国際社会の意思に逆行する暴挙であります。しかも、今後少なくとも3回の未臨界核実験を計画しているとも報道されています。

これら一連の行為は、核兵器廃絶と恒久平和を願い「非核都市宣言」を行った自治体である豊島区にとっては、強い憤りの念を禁じえません。

私は、これまでの貴国の5度にわたる未臨界核実験に対し、その都度、厳重に抗議し、計画しているすべての未臨界核実験の中止を強く要請いたしました。ここに再度、怒りを込めて厳重に抗議いたします。

日本国

東京都豊島区長 加藤 一 敏